

# 第13回これからの北海道立近代美術館検討会議

日時：令和6年（2024年）7月11日（木）10：45～

場所：近代美術館会議室及びWeb会議システムZoom

## 次 第

- 1 開会
- 2 議事
  - (1) 近代美術館の整備方法について
  - (2) その他
- 3 閉会

### ■配付資料

- ・資料1 第12回これからの北海道立近代美術館検討会議 議事録【概要版】
- ・資料2 公立美術館の整備事例について

ミーティング ID: 815 0061 6306

パスコード: kinbi0711

# 議 事

---

## 第13回これからの北海道立近代美術館検討会議 出席者名簿

### ○ 構成員

所 属 ・ 職	氏 名
株式会社haku 代表取締役	菊地 辰徳 <small>きくち たつのり</small>
北海道大学 名誉教授	北村 清彦 <small>きたむら きよひこ</small>
北海道教育大学釧路校 教授	佐々木 宰 <small>ささきつかさ</small>
北海道大学大学院文学研究院 教授	佐々木 亨 <small>ささき とおる</small>
前札幌芸術の森美術館 館長	佐藤 友哉 <small>さとうともよし</small>

(敬称略、五十音順)

### ○ 道教委

所 属	職	氏 名
教育庁	生涯学習推進局長	山崎 義一 <small>やまざき よしいち</small>
教育庁生涯学習推進局 文化財・博物館課	課 長	菅野 泰之 <small>かんの やすゆき</small>
	道立近代美術館担当課長	佐藤 昌彦 <small>さとう まさひこ</small>
	課長補佐	田中 猛之 <small>たなか たけゆき</small>
	係 長	佐伯 圭介 <small>さえき けいすけ</small>
	主 任	宮下 直之 <small>みやした なおゆき</small>
	主 任	中林 恭良 <small>なかばやし たから</small>
北海道立近代美術館	副 館 長	松田 俊也 <small>まつだ としや</small>
	学芸副館長	中村 聖司 <small>なかむら せいじ</small>
	総務企画部長	熊澤 栄司 <small>くまざわ えいじ</small>
	学芸部長兼学芸統括官	村山 史歩 <small>むらやま しほ</small>
	総務企画課長	富田 拓貴 <small>とみた ひろき</small>



日時 令和6年(2024年)5月15日(水) 10時30分~11時30分

場所 Web会議システムZoom

出席者 別添「出席者名簿」のとおり

- 議題
- 1 北海道立近代美術館整備方法等に係る技術的検討調査の結果について
  - 2 知事公館・近代美術館エリアに係る道民等からの意見聴取の結果について
  - 3 その他(報告事項)

委員名	発言概要
菊地委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存の近美を改修し活かしながら、不足している機能を新しく造る案もあり得るのではないか。</li> <li>・環境性の評価基準が後ろ向きに感じる。ネイチャーポジティブの考え方が世界の潮流になっており、前向きな評価で環境のことを考えても良いのではないか。ミティゲーションの考え方で、どうしても切らないといけない樹木は切り、別の場所でより多くの自然を再生させ、トータルでポジティブを目指して行く等、色々な対応方法があるのではないか。</li> <li>・解体したコンクリートなどをその場で再生し、新しく外構に活用するなど廃棄物を出さない方法も十分に考えられる。</li> <li>・環境の評価をより前向きなものにしていくことで経済性の評価も変わっていくのではないか。</li> <li>・ネイチャーポジティブも踏まえて評価し直すと全く違った美術館像が見えてくるのではないか。</li> </ul>
北村委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・報道では、3案の「経済性」を中心とした内容であり、美術館のあり方については、十分に周知されていない。</li> <li>・ソフト面を議論し、どういった美術館にしていくのかという部分は大事だが、改修+収蔵庫増築のA案はワクワク度が低い。</li> <li>・美術館自体が収益性を上げる、美術館自体がお金を稼ぐ、という経済的な波及効果に関する試算も必要。</li> <li>・樹木の伐採は痛ましいことだが、元々原生林ではなく、30~50年先を見据えた造園や、伐採する木をどのように回復するかを考える必要があるのではないか。</li> <li>・移転新築することとなった場合、文化財として重要な既存の建物をどうするのかが決まっておらず、どう活用するかも課題。</li> </ul>
佐々木幸委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・C案は細長い土地しか確保出来ないという印象。敷地に制約された構造となる。十分な近美の機能が実現出来るかは設計してみないと分からない。</li> <li>・学芸員や現場に携わる方の意見を踏まえて選択するべき。</li> </ul>
佐々木亨委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済性の比較結果だけを見ると、ただお金が掛かる施設に見えてしまうが、実際には、新たなコンセプトの美術館を展開することで、経済波及効果が生まれる。仮想評価法などにより、市場を通らない価値を数値化することも大事。</li> <li>・都道府県立規模の美術館では、大規模改修後の活動が目に見えて活発になって評価されている美術館もある。そういった美術館はミッションドリブンの経営に移っている。</li> <li>・「コラボレーション」については、コンテンツではなく社会的な課題について連携するということが今の進み方だと考えられる。</li> <li>・ビジョン、ミッションコンセプトが実現する時に、この活動があるから、この整備方法は正しかったと言われたいいけない。ソフト面が先行していて、それに基づいた整備手法であるという議論で進めるのが正しい進め方ではないか。</li> </ul>
佐藤委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移転しない場合、知事公館エリアとの関係が無いように見える。</li> <li>・レストラン、カフェ、多機能ルーム等を知事公館エリアに移転することも考えるべき。</li> <li>・3案を分けて考えすぎではないか。移転しないとなった場合でも、居住区域で協働しながら駐車場の整備等はできないか。</li> <li>・今後は、知事公館エリアと協働しながら考えていくことを盛り込んだ方がよいのではないか。</li> <li>・建築物の著作権について検討が必要では。</li> <li>・ビジョン、ミッション、コンセプトが、余りにも伝わってないと感じる。</li> </ul>



設置者名	美術館名	開館	リニューアル		面積 (㎡)
			開館	整備方法	延床
北海道	北海道立近代美術館	1977.7 (S52)	—	—	9,160
埼玉県	埼玉県立近代美術館	1982.11 (S57)	2014.9 (H26)	改修	8,577 ▼ 8,577
千葉県	千葉県立美術館	1974.10 (S49)	2015.1 (H27)	改修	10,664 ▼ 10,664
大分県	大分県立美術館	1977 (S52)	2015.4 (H27)	移転 新築	7,302 ▼ 16,818
富山県	富山県美術館	1981.7 (S56)	2017.8 (H29)	移転 新築	8,200 ▼ 14,990 (駐車場含む)
東京都	東京都現代美術館	1995.3 (H7)	2019.3 (H31)	改修	33,515 ▼ 33,515
福岡市	福岡市美術館	1979.11 (S54)	2019.3 (H31)	改修	14,526 ▼ 14,630
新潟県	新潟県立近代美術館	1993.7 (H5)	2019.9 (R元)	改修	10,723 ▼ 10,723

設置者名	美術館名	開館	リニューアル		面積 (㎡)
			開館	整備方法	延床
京都市	京都市京セラ美術館	1933 (S8)	2020.5 (R2)	改修	11,316 ▼ 19,495
長野県	長野県立美術館 (本館)	1966.10 (S41)	2021.4 (R3)	現地 新築	3,096 ▼ 11,324
滋賀県	滋賀県立美術館	1984.8 (S59)	2021.6 (R3)	改修	8,544 ▼ 8,544
静岡県	静岡県立美術館 (本館)	1986.4 (S61)	2022.3 (R4)	改修	9,239 ▼ 9,239
鳥取県	鳥取県立美術館	2025.3 (R7)	—	新設	10,598
宮城県	宮城県美術館 (本館)	1981.11 (S56)	2025(R7) 年度 (予定)	改修	12,130 ▼ 12,130
福岡県	福岡県立美術館	1985.11 (S60)	2029(R11) (予定)	移転 新築	6,929 ▼ 20,900 (駐車場含む)

※過去10年以内にリニューアルを実施している美術館のうち、絵画、彫刻、工芸品等、美術品を総合的に扱う美術館を対象

※情報は各館HP等より引用



# 公立美術館の整備事例について

美術館名	整備方法	開館	リニュ 開館	休館 期間	延床面積 ( リニュ前 リニュ後)	主な整備内容	
A	① 宮城県美術館 (本館)	改修	1981.11 (S56)	2025 (R7) 年度 予定	2年強 予定	12,130㎡	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 老朽化対策（電気・機械・衛生設備等更新、外構屋上防水等の劣化箇所修繕）</li> <li>○ 現講堂 → キッズスタジオ（仮称）、新県民ギャラリーへ用途変更</li> <li>○ 現図書室、現映像室 → 情報・交流ラウンジ（仮称）へ用途変更</li> <li>○ 現県民ギャラリー → 新展示室、新収蔵庫へ用途変更、「見える収蔵庫」設置</li> <li>○ レストラン・ミュージアムショップの拡充、トイレ設備更新、授乳室新設</li> </ul>
						▼	
						12,130㎡	
A	② 滋賀県立美術館	改修	1984.8 (S59)	2021.6 (R3)	4年 3か月 (入札不落)	8,544㎡	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 展示室内装・照明の更新</li> <li>○ 耐震・防災機能の対応(エントランス・ロビー天井耐震化、ガス消火設備等)</li> <li>○ 多目的スペース（ラボ）やボランティア活動室の新設</li> <li>○ キッズ・スペースや授乳室、ファミリートイレを新設</li> </ul>
						▼	
						8,544㎡	
A	③ 福岡市美術館	改修	1979.11 (S54)	2019.3 (H31)	2年 6か月	14,526㎡	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 展示室の改装・拡充や収蔵庫の改修・機能拡充（格納庫の収蔵庫化）</li> <li>○ 多目的トイレ、カフェ等の新設</li> <li>○ 市民ギャラリー、資料室の拡充</li> <li>○ エレベーターの改修、キッズコーナーの移設・改修</li> </ul>
						▼	
						14,630㎡	
B	④ 長野県立美術館 (本館)	現地 新築	1966.10 (S41)	2021.4 (R3)	3年 6か月	3,096㎡	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 公園との一体性確保</li> <li>○ エレベーター、多目的トイレの設置</li> <li>○ 多目的仕様の諸室（県民ギャラリー、講堂、ワークショップ室、アトリエ）</li> <li>○ カフェ・ショップ・憩えるパブリックスペースの設置</li> </ul>
						▼	
						11,324㎡	
B	⑤ 富山県美術館	移転 新築	1981.7 (S56)	2017.8 (H29)	8か月	8,200㎡	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 可動壁のある展示室を設置</li> <li>○ 温湿度・照度が調節可能な設備</li> <li>○ アトリエ、レストラン・カフェ、ミュージアムショップ(展示室へ入場不要)の設置</li> </ul>
						▼	
						14,990㎡ (駐車場含む)	
C	⑥ 福岡県立美術館	移転 新築	1985.11 (S60)	2029 (R11) 予定	未定	6,929㎡	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 茶会館、茶室・日本庭園改修</li> <li>○ 防災・防犯機能の確保</li> </ul>
						▼	
						20,900㎡ (駐車場含む)	
C	⑦ 鳥取県立美術館	新設	2025.3 (R7)	-	-	10,598㎡	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 鳥取県立博物館（昭和47年開館）から美術部門を独立させ、展示空間を拡充・常設展示室（美術専用1室260㎡ → 5室約920㎡）等</li> <li>○ 気軽に立ち寄ることができる親しみやすい美術館 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ひろま」から展望テラスまでつながる立体回遊できるフリースペース</li> <li>・展示やパフォーマンス、ユニークベニユールなど多様な活用が可能</li> <li>・ユニバーサルデザイン（キッズスペース、分かりやすいサイン計画、ユニバーサルフォント等）</li> </ul> </li> </ul>
						▼	
						10,598㎡	

## ① 改修 宮城県美術館

※ 画像は「宮城県HP（宮城県美術館リニューアルの概要）」より引用

### 主な整備内容

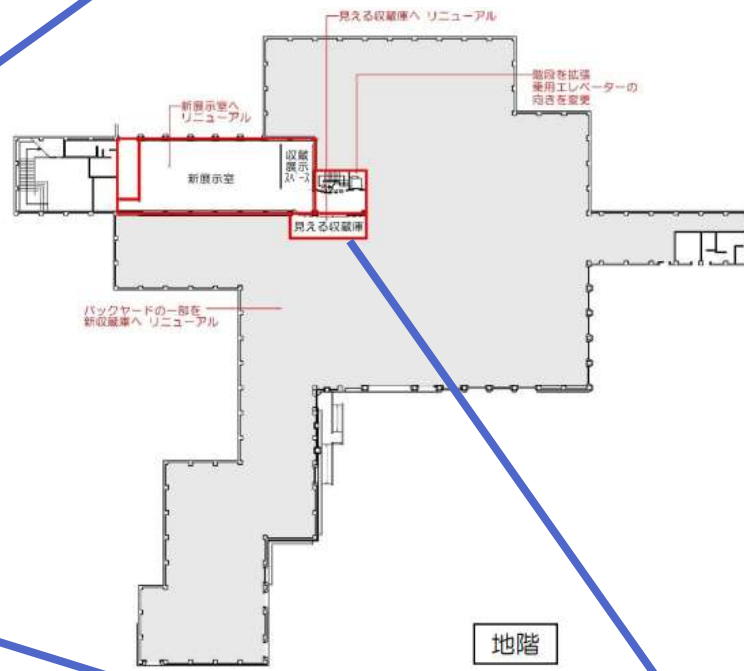
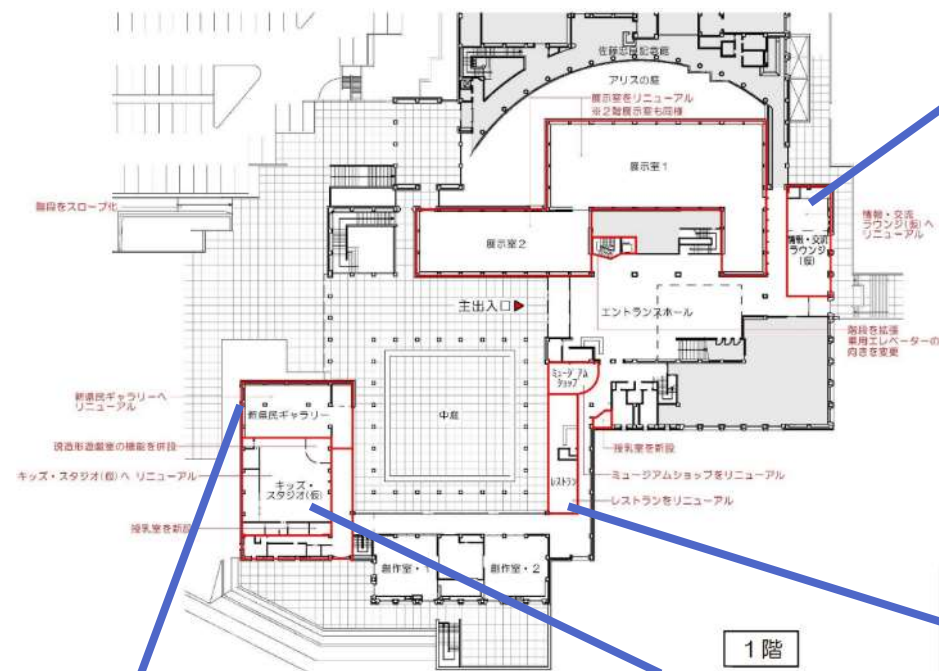
- 老朽化対策（電気・機械・衛生設備等更新、外構屋上防水等の劣化箇所修繕）
- 現講堂 → キッズスタジオ（仮称）、新県民ギャラリーへ用途変更
- 現図書室、現映像室 → 情報・交流ラウンジ（仮称）へ用途変更
- 現県民ギャラリー → 新展示室、新収蔵庫へ用途変更、「見える収蔵庫」設置
- レストラン・ミュージアムショップの拡充、トイレ設備更新、授乳室新設 等



（情報・交流ラウンジ（仮））



（外観（中庭））



（県民ギャラリー）



（キッズスタジオ（仮））



（レストラン、ショップ）



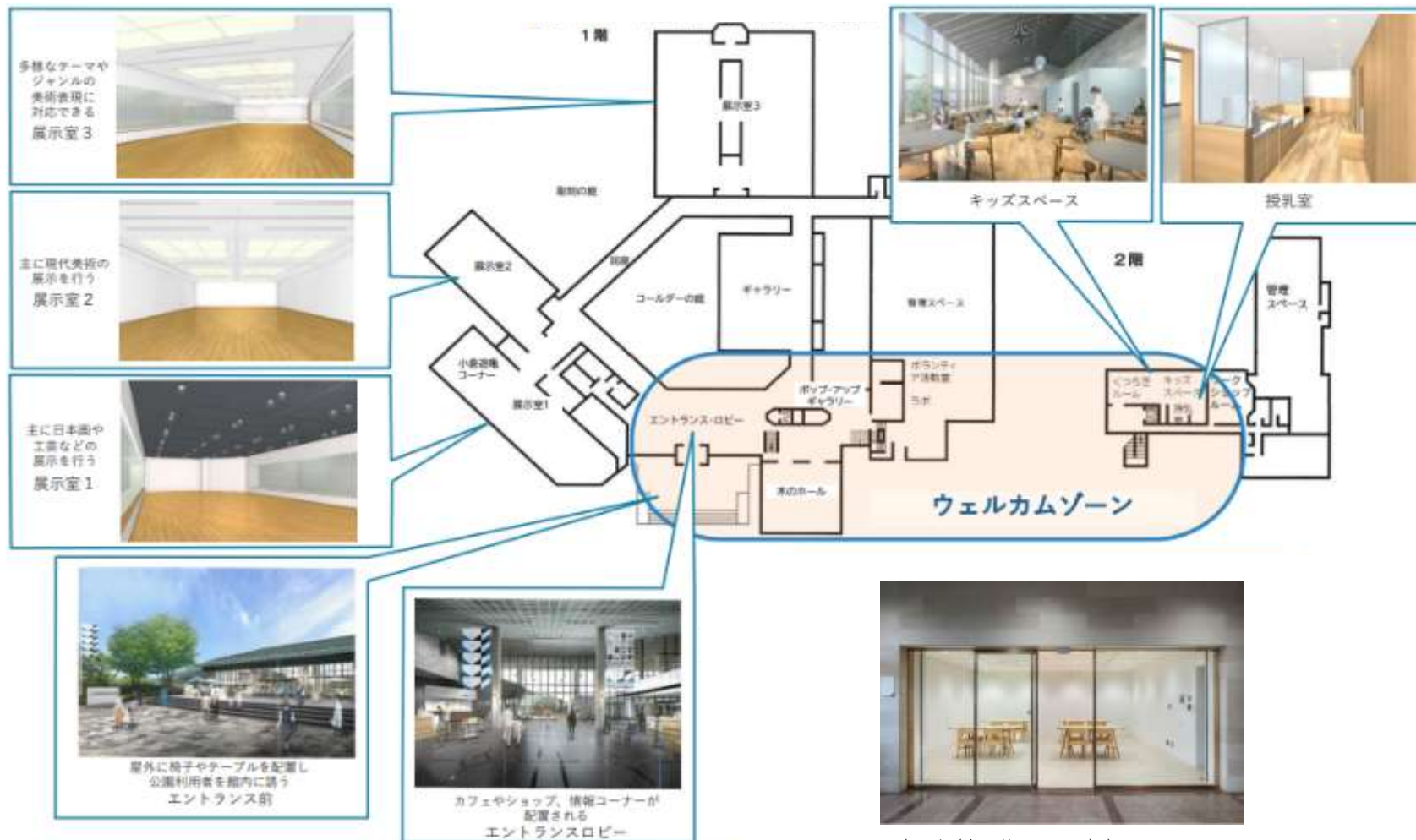
（見える収蔵庫）

## ② 改修 滋賀県立美術館

※ 画像は「滋賀県立美術館HP、美術館魅力向上検討部会 第1回会議 資料2」より引用

### 主な整備内容

- 展示室内装・照明の更新
- 耐震・防災機能の対応（エントランス・ロビー天井の耐震化、ガス消火設備 等）
- 多目的スペース（ラボ）やボランティア活動室の新設
- キッズ・スペースや授乳室、ファミリートイレを新設 等



(ラボ (多目的スペース))

③ 改修 福岡市美術館（リニューアル前）

※ 画像は「福岡市美術館リニューアル基本計画」より引用

1 美術館の現状と課題

「福岡市美術館リニューアル基本構想」〈資料1〉において言及された項目をもとに、現状と課題を以下に列挙します。

1 施設・設備の老朽化・機能低下によって、美術館事業の根幹である「収集・保存・展示」を脅かす状況が生じていること

- 建築の防水機能や配管の経年劣化による雨漏りや漏水の発生
- 空調機能の低下や設備の老朽化、収蔵庫の狭隘化による作品保存環境の悪化
- 展示室壁面の汚損、照明器具の老朽化などによる鑑賞環境の悪化

2 美術館利用に対する機能・体制が不十分であること

- バリアフリーへの対応不十分
- 市民ギャラリーのスペース不足
- 教育普及事業や、市民の創作活動のための付帯施設の機能不足、人的体制の不足

3 利便機能の魅力不足

- くつろぎスペース、休憩場所などの不足
- レストランやショップなど、美術館でより楽しく快適に過ごすための機能不足

4 広報・集客・誘導機能の弱さ

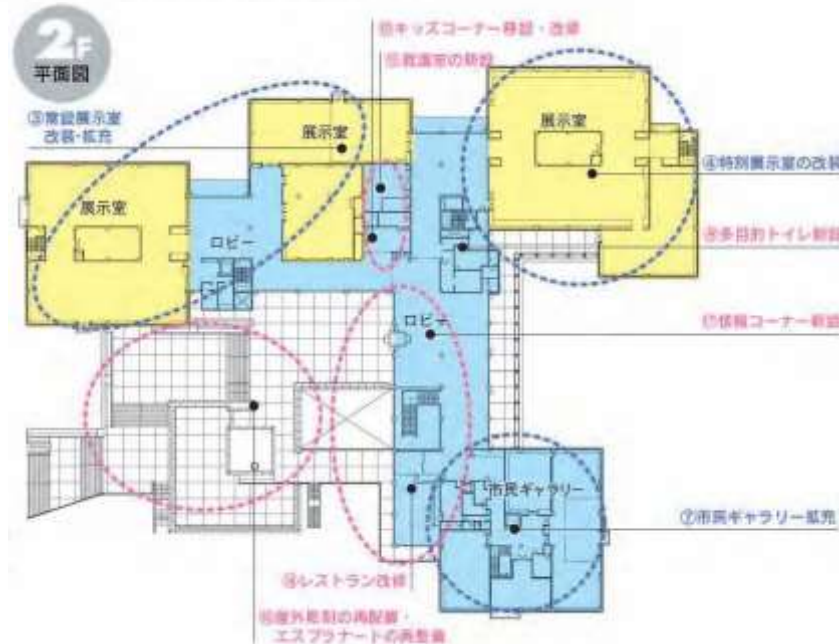
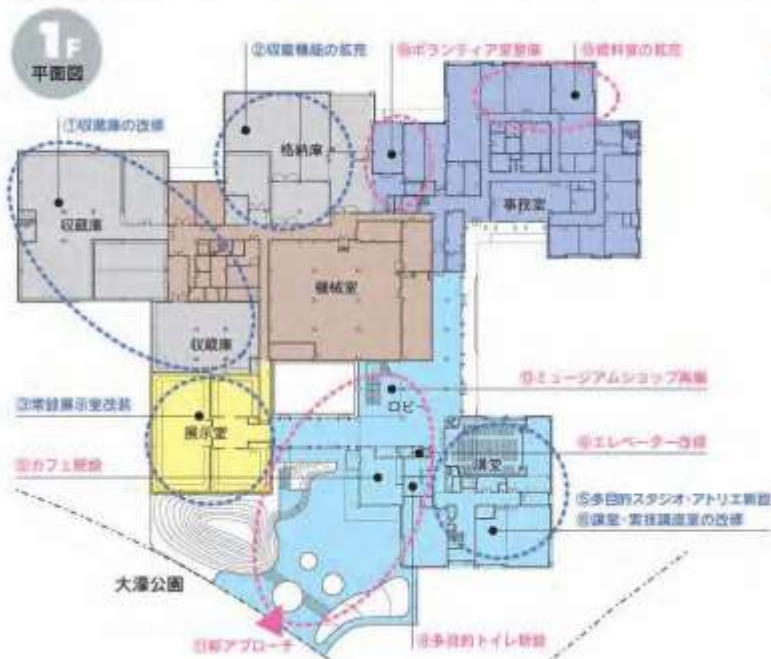
- 広報力不足
- 公園利用者への誘導力不足



収蔵庫（現況）



キッズコーナー（現況）



## ③ 改修 福岡市美術館（リニューアル後）

※ 画像は「福岡市美術館HP」より引用

### 主な整備内容

- 展示室の改装・拡充や収蔵庫の改修・機能拡充（格納庫の収蔵庫化）
- 多目的トイレ、カフェ等の新設
- 講堂・実技講座室の改修
- 市民ギャラリー、資料室の拡充
- エレベーターの改修、キッズコーナーの移設・改修 等



(ミュージアムショップ)



(キッズスペース)



(美術情報コーナー)



1F

- 総合案内
- エレベーター
- 階段
- ロッカー
- ミュージアムショップ
- カフェ
- Wifi
- 男子トイレ
- 女子トイレ
- みんなのトイレ
- オストメイト
- チケットカウンター
- 冷水機

2F

- エレベーター
- 階段
- レストラン
- ロッカー
- チケットカウンター
- 冷水機
- Wifi
- 男子トイレ
- 女子トイレ
- みんなのトイレ
- こどもトイレ
- オストメイト
- 授乳室

## ④ 現地新築 長野県立美術館

### 主な整備内容

- 公園との一体性確保
- E V、多目的トイレの設置
- 多目的仕様の諸室（県民ギャラリー、講堂、ワークショップ室、アトリエ）
- カフェ・ショップ・憩えるパブリックスペースの設置 等
- アート・ライブラリーの設置

※ 画像は「長野県立美術館HP」より引用)



(外観)



(オープンギャラリー)



(ミュージアムショップ)



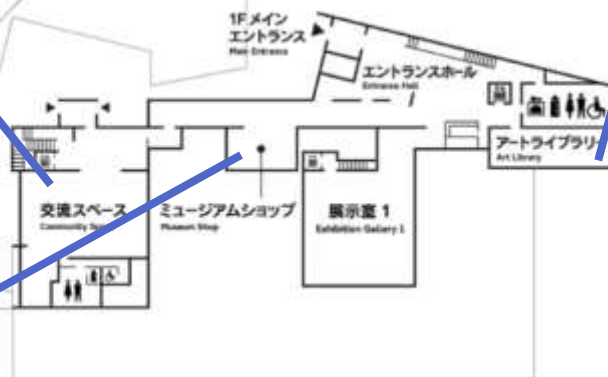
(レストラン)



BF



1F

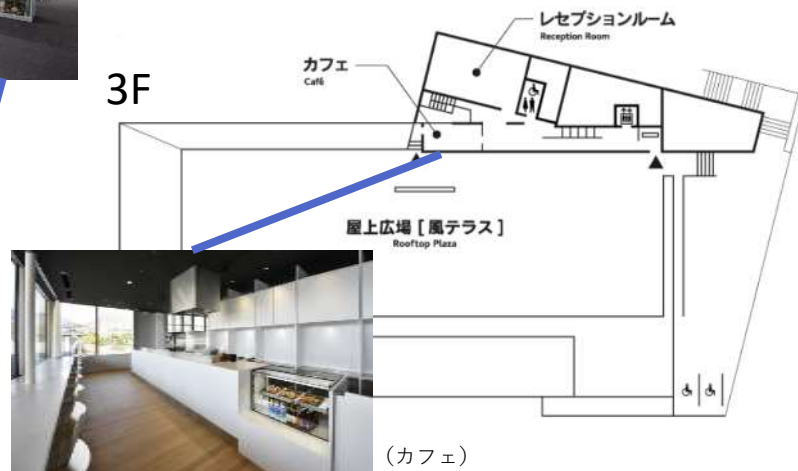


(展示室)

2F



3F



(カフェ)

## ⑤ 移転新築 富山県美術館

※ 画像は「富山県美術館HP」より引用

主な  
整備  
内容

- 可動壁のある展示室を設置
- 借用了作品の一時保管庫
- 温湿度・照度が調節可能な設備
- 映像・図書コーナーの設置
- アトリエ、レストラン・カフェ、ミュージアムショップ（展示室へ入場不要）の設置
- 等



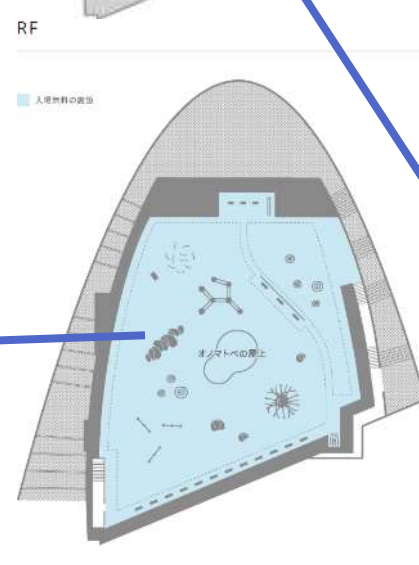
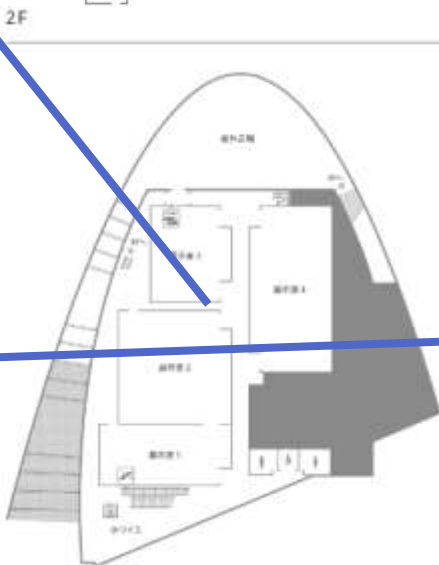
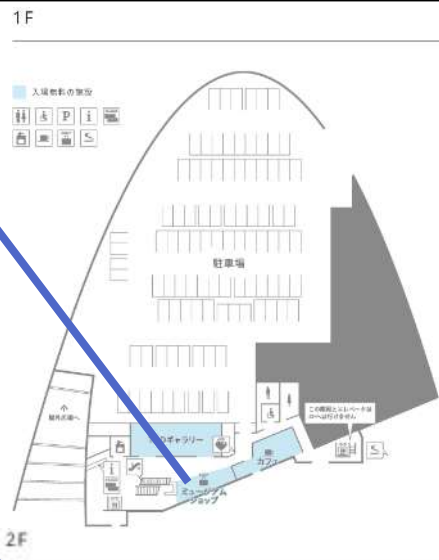
(ミュージアムショップ)



(展示室)



(オノマトペの屋上)



(図書コーナー)



(アトリエ)



(レストラン)

## ⑥ 移転新築 福岡県立美術館

※ 画像は「新福岡県立美術館整備事業基本設計書（概要版）」より引用

### 主な整備内容

- 茶会館・茶室・日本庭園改修
- 防災・防犯機能の確保
- 大型作品に対応可能な構造
- 環境負荷・コストが低減可能な設備



(外観)



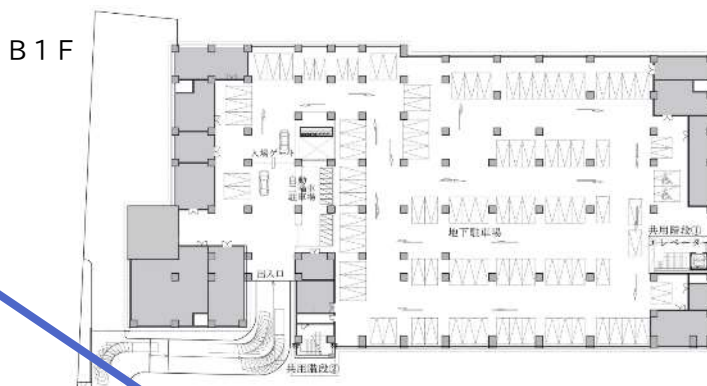
(鳥瞰図)



(特別展示室)



(コレクション展示室)



B1F



2F



(メディアヴォイド)



1F



3F

(屋上広場)

## ⑦ 新設 鳥取県立美術館

※ 画像は鳥取県より提供

### 主な整備内容

- 鳥取県立博物館（昭和47年開館）から美術部門を独立させ、展示空間を拡充
  - ・ 常設展示室（美術専用1室260㎡ → 5室約920㎡）等
- 気軽に立ち寄ることができる親しみやすい美術館
  - ・ 「ひろま」から展望テラスまでつながる立体回遊できるフリースペース
  - ・ 展示やパフォーマンス、ユニークベニユーなど多様な活用が可能
  - ・ ユニバーサルデザイン（キッズスペース、分かりやすいサイン計画、ユニバーサルフォント等）



(ホール)



(スタジオ)



(えんがわ)



(コレクションギャラリー3)



(ひろま)



(県民ギャラリー)



(企画展示室)



(展望テラス)